

文部科学省研究開発指定 7年間の取組について



2020年1月17日

神戸大学附属小学校・幼稚園 1

研究開発課題

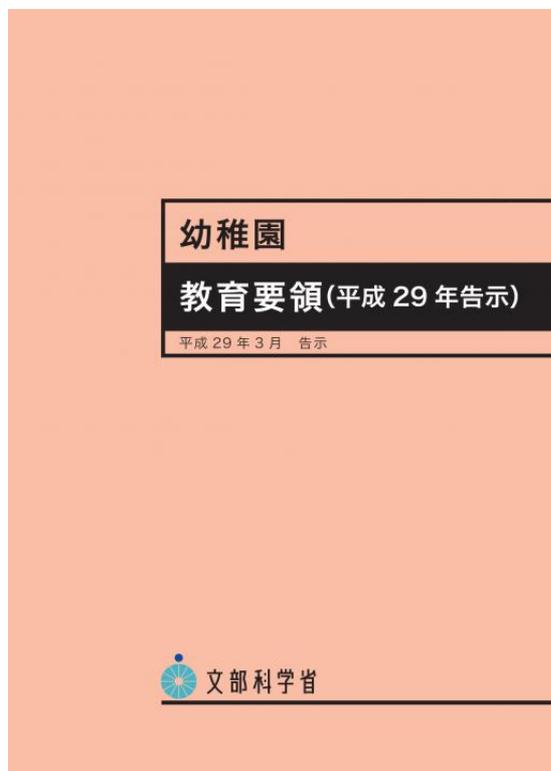
幼稚園と小学校の円滑な接続に資する，子どもの学びに着目した，幼児教育と小学校教育9年間を一体としてとらえた教育課程の大綱となる「初等教育要領」の開発

延長指定3年



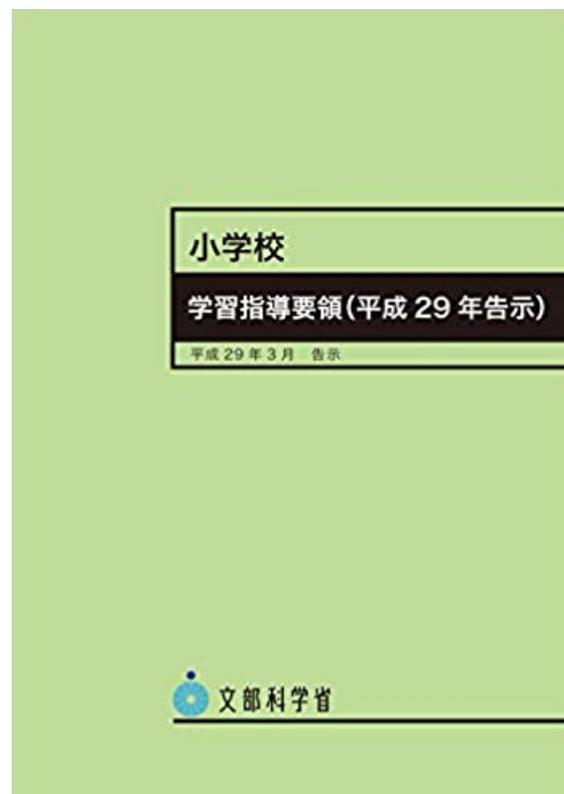
幼稚園と小学校の円滑な接続に資する，子どもの学びに着目した，幼児教育と小学校教育9年間を一体としてとらえた教育課程の大綱となる「初等教育要領」の充実

幼児教育



『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を共有すること

小学校



『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を踏まえた指導を工夫すること

研究の背景

幼稚園教育要領

連続性
一貫性

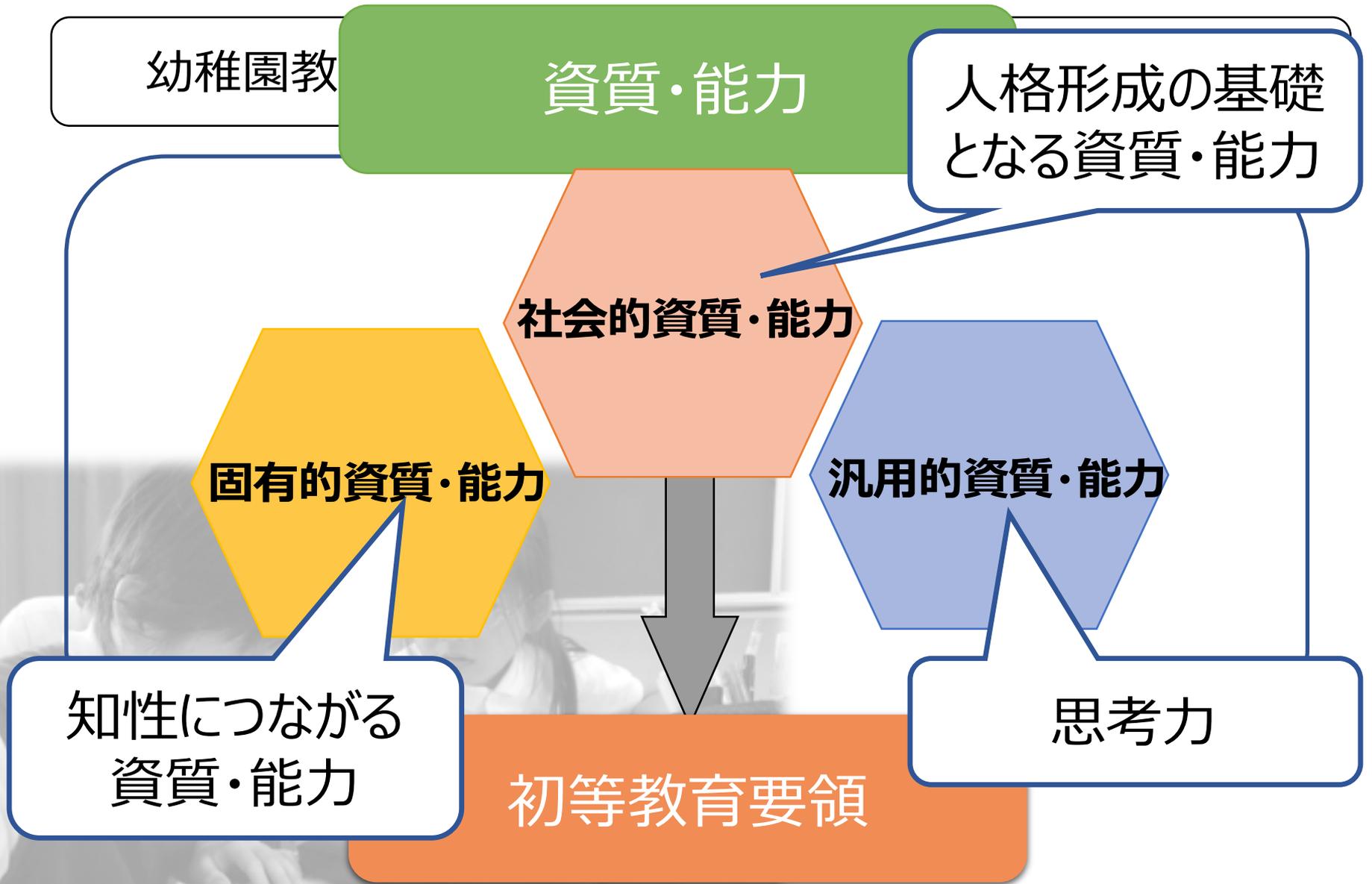
小学校学習指導要領

幼児期から児童期を通じて、教育の目的・目標に
連続性・一貫性があることを可視化する



幼小9年間を一体としてとらえた「初等教育要領」

研究の内容





11の資質・能力

社会的資質・能力

資質・能力

自ら決める・選ぶ

自分に満足する

気持ちをコントロールする

よりよい自分に向かう

他者という喜びを感じる

他者のことを知る

自分のことを伝える

他者のことを考えて行動する

他者を称賛する

人と協力・共同する

人とものごとをすすめる

資質・能力

心の健康を保つ	語彙・語句を適切に活用する
体の健康を保つ	文章の構成を整える
身を守る	文字を適切に書く
身体を操作する	言葉を適切に使い分ける
自然環境をみつめる	食をみつめる
生き物・いのちをみつめる	衣類を整える
事物を科学的にとらえる	道具をあやつる
現象を科学的にとらえる	住空間を整える
造形に表す	財を活用する
音楽に表す	多様な文化を尊重する
文芸に表す	施設や働く人とつながりをもつ
身体の動きに表す	資源の活用をみつめる
演出に表す	過去とのつながりをとらえる
形を数理的にとらえる	土地の特色をとらえる
数・量を数理的にとらえる	平和を求める
空間を数理的にとらえる	メディアを活用する

固有的資質・能力

**32の
資質・能力**

資質・能力

比較する

関連付ける

総合する

再構成する

推論する

論点を抽出する

批判的に考える

自分を客観的に把握する

問題を認識する

豊かに発想し, 追求の手
立てを構想する

実行し, その結果をもと
に判断をくださ

汎用的資質・能力

汎用的資質・能力

11の
資質・能力

【資質・能力のまとめ】定義	資質・能力	資質・能力の定義
【自分の生き方】 様々なかかわり 合いの中で、自 分を見つめ、し たいことやすべ きことを自分で 決め、よりよい 生き方を目指そ うとする	自ら決める・選 ぶ	興味・関心をもったり、目的や目標を定めたり して、その実現に向けて見通しをもち、やり遂 げようとする
	自分に満足する	自分の成長を自覚し、自らの価値に気付く
	気持ちをコン ロールする	よりよい方向に向けて、自分の気持ちに折り合 いをつけようとする
	よりよい自分に 向かう	よりよい方向に向けて、した方がよいと思うこ とをしようとする
【人とのつながり】 人とかかわるこ とを通して、他 者の思いや考え に気付き、より よい関係をつく ろうとする	他者という喜び を感じる	他者とかわる心地よさや嬉しさ、よさを感じ てつながりを大切にしようとする
	他者のことを知 る	他者に関心をもち、思いや考え、個性を認めよ うとする
	自分のことを伝 える	相手にわかるように、自分の思いや考えを行動 や言葉で伝えようとする
	他者のことを考 えて行動する	他者に寄り添い、相手にとってよいと思うこと をしようとする
	他者を称賛する	他者のよさや頑張りに気付き、ほめ讃えよう とする
	人と協力・共同 する	人と共通の目的や目標に向かって、自分にでき ることをしようとする

研究の内容

幼稚園教

初等教育要領

学習指導要領

幼小共通の「ものさし」



3歳

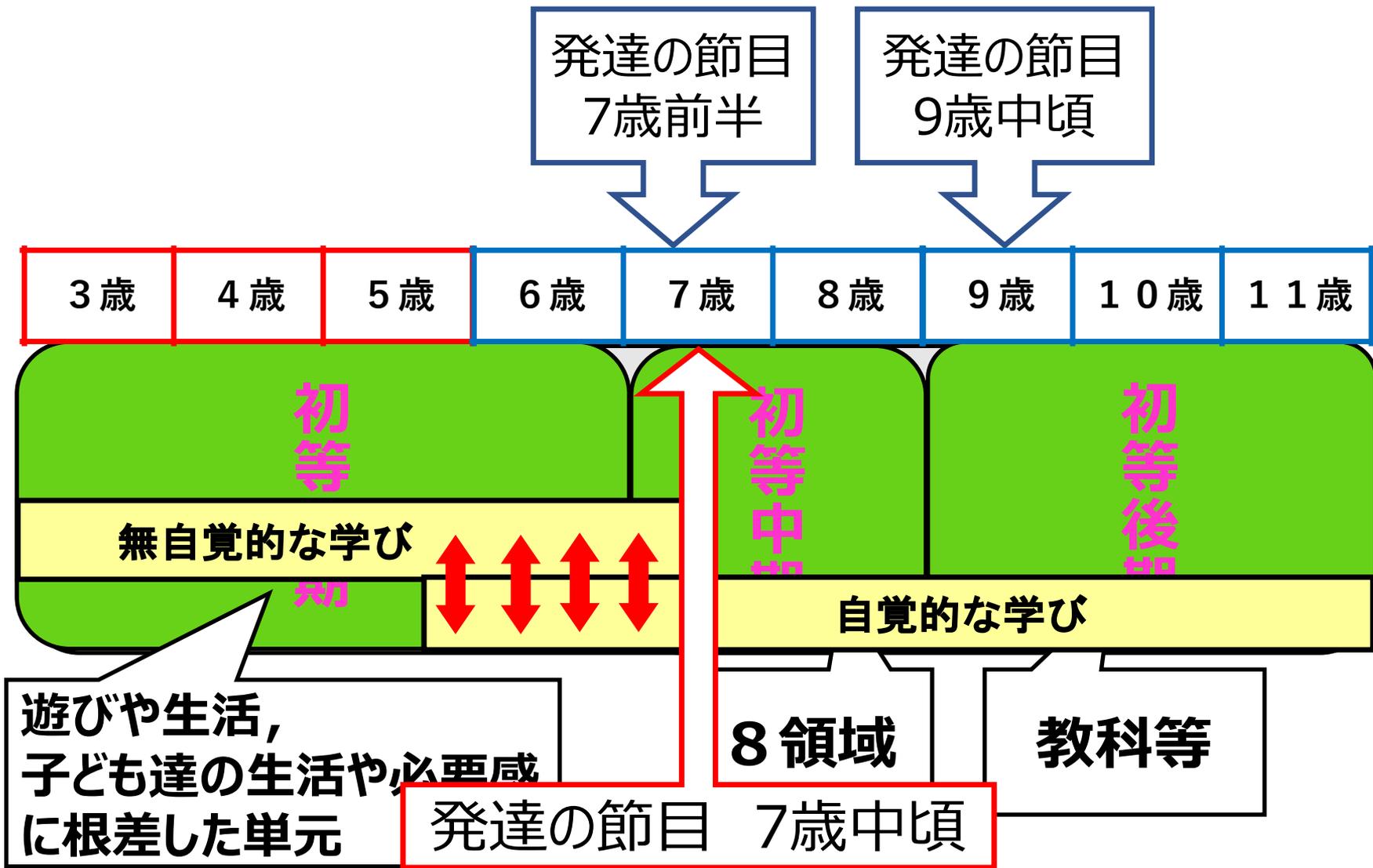
11歳

社会的資質・能力

固有的資質・能力

汎用的資質・能力

研究の内容



研究の内容

発達の節目の検討

1時間の学習の後に書かせる「大切なこと」の記述分析

単元末に書いている「ふりかえりカード」の記述分析



ふりかえりカード

・何を学んだのか

・単元目標に関して学んだこと

・生活にいかせる内容

学習をみわたそう(11月14日)

2年1組

単元名

みんなで音読げきをつくる

領域

ことば

単元目標

物語『お手紙』を、登場人物の会話や行動・心情や場面の様子などについて、文中の言葉に着目しながら想像を広げ読み、読み深めたことを音読劇で表現する。

この単元を通して、わかったこと・できるようになったことを書きましょう。

わたしがこのたんげんで、できるようになったことは、2つあります。
1つめは、みんなでそのぼめんにあったひょうげんのしかたを考えることです。
2つ目は、そのぼめんのなかのかえる人とがまんがやっていることをもとにして、せかいを考えたことです。

~~作者のつくり上げた「お手紙」のせかいをかみとることで~~
 この単元で学んだことが、生活の中でどのように活かそうかについて書きましょう。またのすね。

わたしがこのたんげんでまなんで、せかいを考えることをわかって、読書をするときも、豆頁でせかいをそうぞうして、どくしょをしていきたくです。

おうちの人から

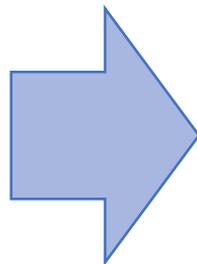
読書をする時に、その世界を大切にすると、さらに理解が深まり、楽しいと思います。
本の人は好きは、~~その~~だから、これから自分の本の世界を見ようというね。本と読んだら、その世界を楽しめるよって、本はすばらしいね。

研究の内容

無自覚的な学び



「楽しかった」「うれしかった」など、自分についての評価や活動についての感想



自覚的な学び



学習に対する計画や単元後の見通しに関する記述

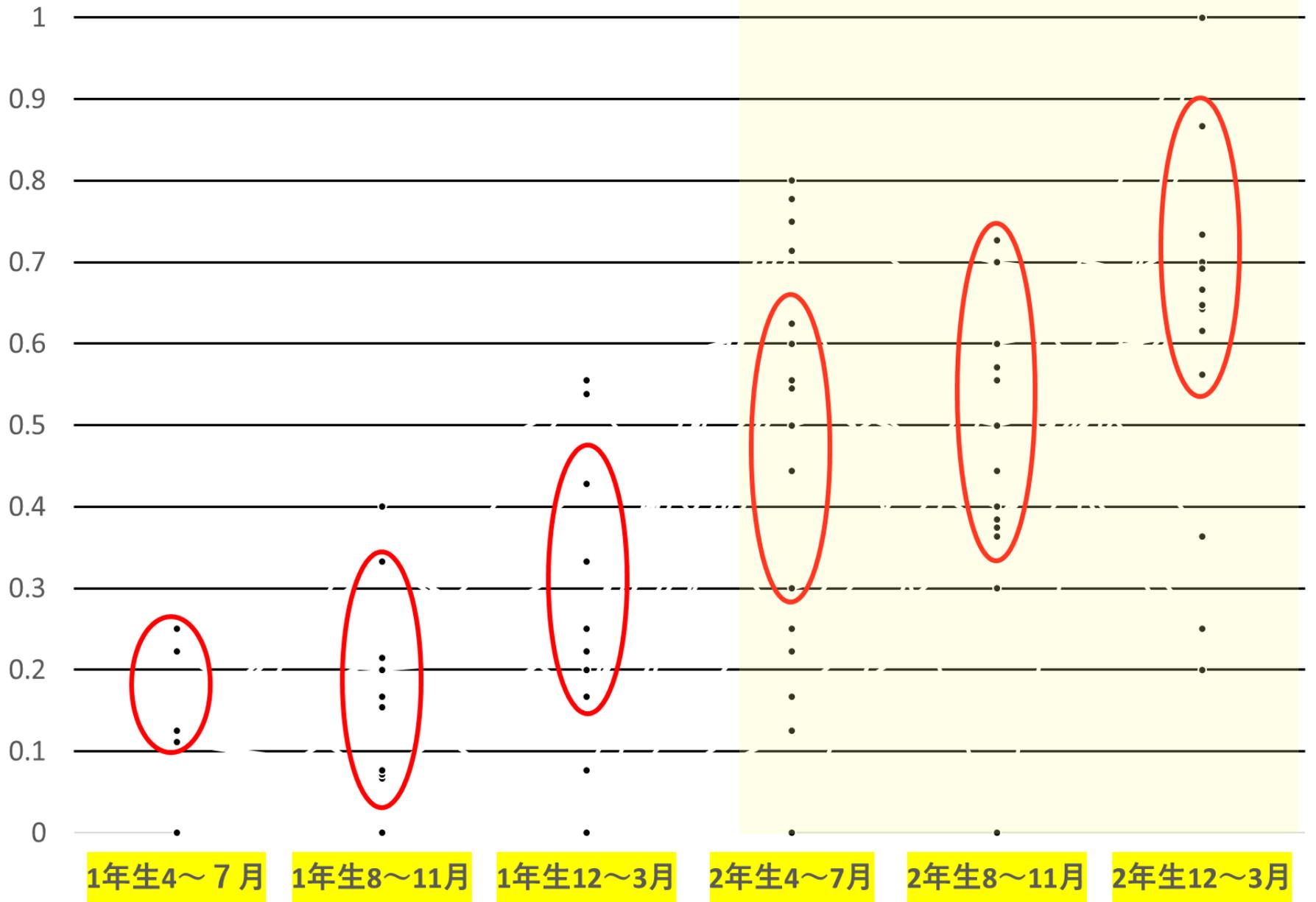
振り返りカード
の枚数

条件を満たした振り
返りカードの枚数

名前	1年生4月	1年生5月	1年生6月	1年生7月	1年生8月	1年生9月	1年生10月	1年生11月	1年生12月
1	1	1	0	1	3	3	5	4	
	0	0	1	0	0	1	1	3	
	0	0	0.166667	0	0	0.333333	0.2	0.75	
2	1	1	6	0	3	3	5	4	
	1	1	0	0	0	1	2	0	
	1	1	0	0	0	0.333333	0.4	0	
3	1	1	7	0	3	3	4	3	
	0	0	1	0	0	1	1	0	
	0	0	0.142857	0	0	0.333333	0.25	0	0.666
4	1	1	6	0	2	2	5	3	
	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	

条件を満たした振り
返りカードの割合

振り返りカードの分析結果



研究の内容

発達の節目



「無自覚的な学び」と「自覚的な学び」の両者が調和のとれたカリキュラム

研究の内容

「初等教育要領」の開発，充実を支える取組

幼小9年間

幼稚園

初等前期

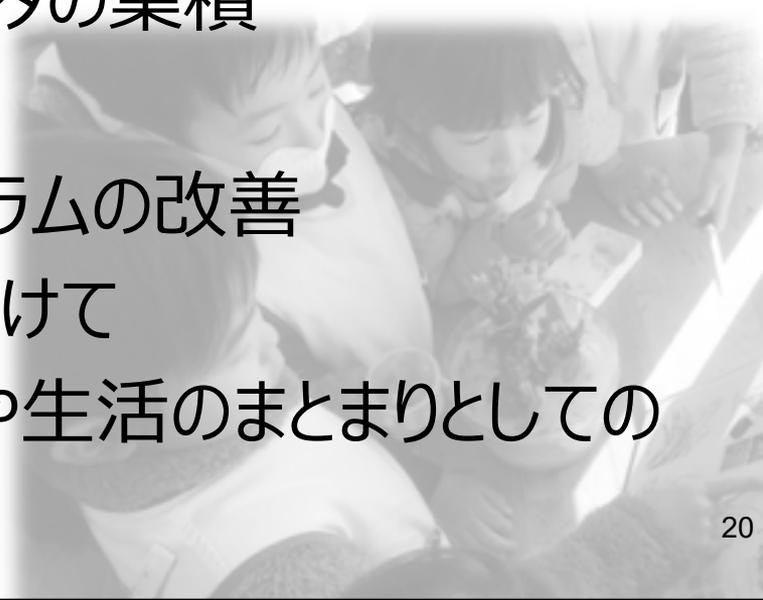
6,7歳

小学校

初等後期

初等前期

- ①資質・能力カリキュラム『新神戸大学附属幼稚園プラン』の創造
- ②資質・能力の発揮，伸長を支える指導計画の改善
- ③幼小を一体として捉えた接続期カリキュラムの充実
～小学校における取組～
- ④子どもの事実を基にした実践データの集積
- ⑤根拠のあるカリキュラム改善
- ⑥補助簿を活用した評価とカリキュラムの改善
- ⑦5，6歳のカリキュラムの充実に向けて
- ⑧協同的な学びを保障する「遊びや生活のまとまりとしての計画」



神戸大学附属幼稚園プラン

10視点カリキュラム

【教育課程】

- 入園から修了までのねらい一覧

【指導計画等】

- 長期指導計画（月案）
- 短期指導計画（日案）
- 遊びや生活のまとまりとしての計画（単元計画）
- 5・6歳合同保育・学習

教材開発

- ドキュメンテーション

幼児教育の可視化と発信
教師の資質向上

ボトムアップの開発
根拠のあるカリキュラム改善
事実に基づく「学び」が根拠



新 神戸大学附属幼稚園プラン

資質・能力カリキュラム

【教育課程】

- 入園から修了までのねらい一覧

【指導計画等】

- 長期指導計画（月案）
- 短期指導計画（日案）
- 遊びや生活のまとまりとしての計画

- 5・6歳合同保育・学習

【実践データ】

- 実践記録
- ドキュメンテーション

協働体制
連携体制

小学校
との協働

大学
との協働

家庭
との連携

地域
との連携

教師の
資質向上

幼児教育の可視化と発信

開発・充実

実施体制の構築

改善システムの構築

カリキュラム・マネジメント

(複数に分かれたものは矢印で表示)

10視点カリキュラム		資質・能力カリキュラム	
視点	下位項目	資質・能力	資質・能力の まとめり
自分の生活	自ら決める・選ぶ	自ら決める・選ぶ	自分の生き方
	自分に満足する	自分に満足する	
	気持ちをコントロールする	気持ちをコントロールする	
人とのつながり	よりよい自分に向かう	よりよい自分に向かう	人とのつながり
	他者という喜びを感じる	他者という喜びを感じる	
	他者のことを知る	他者のことを知る	
	自分のことを伝える	自分のことを伝える	
	他者のことを考えて行動する	他者のことを考えて行動する	
	他者を賞賛する	他者を賞賛する	
	人と協力・共同する	人と協力・共同する	
	人とものごとをすすめる	人とものごとをすすめる	
健全なからだ	精神的安定	心の健康を保つ	心身の健康を保つ
	健康	体の健康を保つ	
	安全	身を守る	
	運動	身体を操作する	
自然との共生	自然環境	自然環境をみつめる	人と自然とのあり方をみつめる
	生き物・いのち	生き物・いのちをみつめる	
現象	事物	事物を科学的にとらえる	事象を科学的にとらえる
	現象	現象を科学的にとらえる	
感動の表現	造形	造形に表す	感動を表現する
	音楽	音楽に表す	
	文芸	文芸に表す	
	身体・総合	身体の動きに表す	
文字とことば	言葉・語句	言葉・語句を適切に活用する	日本語を適切に活用する
	言い方・伝え方	文章の構成を整える	
	ひらがな・かたかな	文字を適切に書く	
	ことばの使い方・つなげ方	言葉を適切に使い分ける	
数と量	かたち	形を数理的にとらえる	事象を数理的にとらえる
	数・量	数・量を数理的にとらえる	
	空間	空間を数理的にとらえる	
豊かな暮らし	食	食をみつめる	くらしをつくる
	生活習慣	衣類を整える	
	道具	道具をあやつる	
	住	住空間を整える	
	財	財を活用する	
	伝統行事	多様な文化を尊重する	
世の中のしくみ	公共施設	公共施設とつながりをもつ	社会とのつながりを築く
	資源	資源の活用をみつめる	
		過去とのつながりをとらえる	
		土地の特色をとらえる	
	メディア	メディアを活用する	

「資質・能力カリキュラム」の観点の関連と移行による効果

例えば

生活習慣

- 体の健康を保つ
- 身を守る
- 身体を操作する
- 食をみつめる
- 衣類を整える
- 道具をあやつる
- 住空間を整える

資質・能力の方向へ教師の意図と手立てが明確に

資質・能力の発揮・伸長を支える教育の充実へ

(汎用的資質・能力は社会的資質・能力および固有的資質・能力と合わさって存在する。)
10視点カリキュラムと資質・能力カリキュラムとの観点对応

関係の明確化

教育課程
長期指導計画
短期指導計画

資質・能力毎に編成

身を守る【身を守る】 自分の状態や周囲の状況に気付き、安全について考え行動しようとする

長期指導計画 ：月の指導計画

①資質・能力毎に編成

②教育課程と長期指導計画の関係の可視化

③遊びや生活の場면을例示

年齢	3歳児										4歳児											
初等教育要領	身を守る方法やどうすると危ない状況になるかを知ったり、痛い思いや怖い思いをして危ないことを感じたりし、危なくないようにしようとする																					
年齢	3歳児										4歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	初めて出会う環境の中で、どうすると危ない状況になるかを知り、危ない方法を教え、その通りにしようとする										どうすると危ない状況になるかを知り、驚いたり痛い思いをしたりして危ないことを感じたりし、危なくない方法を教え、その通りにしようとする											
月のねらい	積み木の積み方、砂や砂遊びの道具、遊具の使い方、乗る物の乗り方、固定遊具の遊び方、遊ぶときの動き方など、どうすると危ないかを聞き、危なくない方法を教え、その通りにしようとする										積み木の積み方、砂や長いもの、重いのもの、固定遊具での遊び方、ときの動き方、見過ごすの動き方、投げたり振り回したり飛ばしたり乗ったりする遊具の扱い方など、どうすると危ないかを聞き、危なくない方法を教え、その通りにしようとする											
遊びや生活の場面	<ul style="list-style-type: none"> 高い所に乗る 高い所の上る 遊ぶ ブランコに乗る ハサミを使う 傘をもち、さす けんかをする 三輪車、四輪車、自転車に乗る 手をつないで歩く 										<ul style="list-style-type: none"> 高い所に乗る けんかをする ブランコに乗る ハサミを使う 傘をもち、さす レーキ、シャベルを使う 三輪車、四輪車、自転車に乗る 手をつないで歩く 											
月のねらい	遊ばせたり先生を呼ぶとする										戸外で遊ぶ											
遊びや生活の場面	戸外で遊ぶ										戸外で遊ぶ											
月のねらい	<p>友達がかかると怪けに気づくことを知り、驚いて先生を呼ぶようにしようとする。また、遊ぶ時は怪けをしないように、押さったりつかんだりせず、怪けに気づいたら、声をかけ、そうしようとする</p>										<p>友達がかかると怪けに気づくことを知り、驚いて先生を呼ぶようにしようとする。また、遊ぶ時は怪けをしないように、押さったりつかんだりせず、怪けに気づいたら、声をかけ、そうしようとする</p>											
遊びや生活の場面	友達がかかると怪けに気づくことを知り、驚いて先生を呼ぶようにしようとする										友達がかかると怪けに気づくことを知り、驚いて先生を呼ぶようにしようとする											
月のねらい	友達がかかると怪けに気づくことを知り、驚いて先生を呼ぶようにしようとする										友達がかかると怪けに気づくことを知り、驚いて先生を呼ぶようにしようとする											
遊びや生活の場面	友達がかかると怪けに気づくことを知り、驚いて先生を呼ぶようにしようとする										友達がかかると怪けに気づくことを知り、驚いて先生を呼ぶようにしようとする											

教育課程と
長期指導計画の
関係の可視化

遊びや生活の
場면을例示

園外での車や自転車などに注意した歩き方や海での安全な遊び方について考えたり、園外の知らない場所や知らない人から身を守るためにどうすべきか考えて教師の近くで過ごすことしたり周囲の状況を見たりして、自分で確かめながら行動しようとする

資質・能力の発揮、伸長を可視化する実践記録

実践記録により、子どもが人と互いに影響を及ぼし合い、
資質・能力を発揮、伸長させ、学びに至る過程を分析的に捉える

Collage of practice records on the left side, showing various pages with text and photos of children.

場面	～発案：①教師の質問	資質・能力 （この場面から）
D「1リットルの割合ケースに水を入れると下から水が出るのを見る。」 「あー。」【割合ケースの下が成り立っている部分にしばらく目をやると、】	・割合ケースから水が溢れているのを感じた。下から見たのでは原因が分からなかった。 ②おが、上から見ることで水が溢れる原因に気付くようになる。セザルになった。 ・教師の意から上から見ようと考え、見たことで割合ケースが成り立っていることに気付いた。 ・溢れた箇所が分かっていく。	①問題意識 ②観察力 ③観察力 ④観察力 ⑤観察力
教師「おれ。」【割合ケースを水の上から見る。】 D「教師に目をやると、割合ケースを上から見る。」【ちよっと離れてる。】	・離れた箇所が分かっていく。	①問題意識 ②観察力 ③観察力 ④観察力
A 教師「え？どこどこ？」【上から割合ケースの各部に目をやると、】 教師「どうして離れてるって分かったの？」 D「ほらここがふたふたしてる。」【水が溢れている一点を探さず。】	①Aが水が溢るポイントに気付くように、おの意図を伝えるきっかけを与えた。 ・水の動きから溢れる箇所を見つけられた。 ・離れた箇所を水の流れを止らなうと、水の動きを、観察できた。 ②Bに誘われてもらったことで、水の動きから溢れる箇所を把握できた。 ・気づき、水が溢れていることから、割合ケースが溢れて溢れが止まったと予想した。 ・水が溢れていること、ギリギリに必要で割合から入れ替えていることから、実際に寄っているギリギリが溢れようとして、もめた。	①問題意識 ②観察力 ③観察力 ④観察力 ⑤観察力
A 教師「おれんや。」【水が溢れている一点を見る。】 K「溢れて溢れんや。」 A「水が溢ってる。」 B「IAの言葉を聞く。」【「ギリギリに溢れちゃうよ。」】	・溢れている箇所を水の流れを止らなうと、水の動きを、観察できた。 ②Bに誘われてもらったことで、水の動きから溢れる箇所を把握できた。 ・気づき、水が溢れていることから、割合ケースが溢れて溢れが止まったと予想した。 ・水が溢れていること、ギリギリに必要で割合から入れ替えていることから、実際に寄っているギリギリが溢れようとして、もめた。	①問題意識 ②観察力 ③観察力 ④観察力 ⑤観察力
A 教師「割合ケースをもうスポンジで穴を押さえる。押さえた水が溢ってくるのを見る。」	・溢れている箇所を水の流れを止らなうと、水の動きを、観察できた。 ②Bに誘われてもらったことで、水の動きから溢れる箇所を把握できた。 ・気づき、水が溢れていることから、割合ケースが溢れて溢れが止まったと予想した。 ・水が溢れていること、ギリギリに必要で割合から入れ替えていることから、実際に寄っているギリギリが溢れようとして、もめた。	①問題意識 ②観察力 ③観察力 ④観察力 ⑤観察力
A「どうしよ？」	・スポンジを穴を押さえてきたこと、スポンジを押さえた水が溢ってくること、水を止めようとしたこと、おの意図を、友達と一緒に考えようと思いついた。	①問題意識 ②観察力 ③観察力 ④観察力 ⑤観察力
K「面白いにする？」	・おもしろいと思いついたこと、割合ケースを溢れさせる方法を思いつき、その考えを友達に、友達はどう思うかを聞いた。	①問題意識 ②観察力 ③観察力 ④観察力 ⑤観察力
S「テープで貼ったら？」	・おもしろいと思いついたこと、割合ケースを溢れさせる方法を思いつき、その考えを友達に、友達はどう思うかを聞いた。	①問題意識 ②観察力 ③観察力 ④観察力 ⑤観察力

Collage of practice records on the right side, showing various pages with text and photos of children.

子どもの学びの過程を可視化するドキュメンテーション

- 遊びや生活の様子が分かるように、写真を使って、子どものつぶやき、教師の解説、子どもの学びを整理し、ストーリーとして分かるように紹介
- 子どもと教師、保護者間で子どもの学びの過程を共有



→ **カリキュラム・マネジメントに活用**

↑ 根拠のある
カリキュラム改善

カリキュラム改善の手順

ステップ1 (年度初め)	教育課程や長期の指導計画の中に、前年度までの担任が見出した、子どもが資質・能力を発揮、伸長した姿とずれがあるととらえた箇所を、担任が改めて実践を通して子どもが資質・能力を発揮、伸長した姿から確かめる箇所として見当をつけ、共通理解する。
------------------------	---

人とのつながり【自分のことを伝える】相手にわかるように、自分の思

年齢	3歳児												4歳児							
初等教育要領	先生や友達に自分の話をしようしたり、友達に自分の気持ちや考えを行動や言葉で伝えようしたりし、伝えることのよさを感じる																			
年齢	3歳児												4歳児							
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1
教育課程	自分の 気持ち を表情 や態度 で表			先生や 友達に したい ことや してほ		先生や 友達に したい ことや してほ		先生や 友達に したい ことや してほ		先生や 友達に したい ことや してほ		先生や 友達に したい ことや してほ		先生や 友達に したい ことや してほ		友達に 自分の 気持ち を言葉 や行動 で伝え よう したり、 先生や 友達に 自分の 話をし よう したりし、 伝える ことの よさ を感じ る		友達に 自分の 気持ち を言葉 や行動 で伝え よう したり、 先生や 友達に 自分の 話をし よう したりし、 伝える ことの よさ を感じ る		友達に 自分の 気持ち を言葉 や行動 で伝え よう したり、 先生や 友達に 自分の 話をし よう したりし、 伝える ことの よさ を感じ る

確かめたい箇所

修正した箇所

伝える相手、伝えたい内容（話題等）の変化は質的
(90年度、身に付いた相手の中がわりはありえる)

資質・能力カリキュラム

- ①教科学習の内容を網羅する
- ②学校生活全体で資質・能力を発揮，伸長させることができる単元をつくる
- ③幼児期を踏まえた，生活や必要感に根差した学習
- ④後期との円滑な接続を意識する
- ⑤資質・能力の観点で子どもの学びを見取り，評価する



54の資質・能力の観点で…

- 一つのねらいに絞らない
- 子どもの学びの見取り



- 資質・能力の見取り
- 見取りに応じた支援

54の資質・能力の観点で…

一時間の中だけで
30人以上の見取り
は難しい

絞らない
見取り



特定の資質・能力
の見取りに偏る

●見取りに偏るための支援



子どもの学びの見取り



見取りに応じた支援



記録・集積を通じた
カリキュラムの修正



発揮, 伸長した
資質・能力の
記録や集積

2年1組		単元名		ふ小のあたらしいなかまをむかえよう							①					
資質・能力	8	他者のことを考えて行動する	8	他者のことを考えて行動する	8	他者のことを考えて行動する	8	他者のことを考えて行動する	8	他者のことを考えて行動する	8	他者のことを考えて行動する	5	他者という喜びを感じる	1	自ら決める・選ぶ
		○	入学式では、1年生が安心して、附小に仲間入りできるよう、入場の仕方や表現の仕方を自分なりに工夫して取り組もうとした。	○	学校探検では、1年生が学校生活で困らないために、特に案内したい場所や使い方の説明を決め、1年生を案内しようとした。	○	1年生が安全に学校を探検できるように、歩くスピードや立ち位置を考えながら1年生を案内しようとした。	○	遊具の使い方を教えるとき、1年生が休み時間を楽しく、安全に過ごせるよう、特に説明した遊具の使い方や注意点や遊び方を決め、1年生に教えようとした。	○	校歌を教えるとき、1年生に校歌のイメージが分かってもらえるように、伝え方を工夫して1年生に教えようとした。	○	自分より下の学年の友だちと仲良くなれたことをうれしく感じていた。	○	ベアの1年生と仲良くなれるように、接し方を考えながら、関わり続けた。	○
1													○			
2				○									○			
3				○												
4													○		○	
5				○									○			

名前

単元構成表

時間	学習活動	◆支援 ・留意点	資質・能力
1	<p><みつける>0.5時間</p> <p>未完成の絵本を見て、間を埋めて完成させたいという思いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この絵のうさぎとりすは、あの島に向かっていているのかな。 ・あ、最後のページを見ると、島にたどり着いているね。 ・たくさんのくだものがなった木もあるね。 ・間のページを埋めていこうよ。 	<p>絵を見て分かること、想像したことを話す場を設ける。子どもたちが絵本の世界を思い描き、ストーリーに沿って学習を進めることができるようにするためである。</p> <p>最初と最後のページだけ完成していて、間は未完成の絵本を用意し、提示する。足りない部分を埋めたいと思い、絵本作りの見通しをもつことができるようにするためである。</p>	<p>【文芸に表す】</p> <p>①絵を見て様子を想像し、数字の出てくるお話をつくっている。</p>
2	<p><みとおす> 0.5時間</p> <p>学習計画を立て、単元の学びを見通す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな動物やお花が出てくるんだろう。 ・虹の島に向かうお話を考えないといけないね。 ・絵本作り、楽しみだな。 	<p>お話に出てくる動物やお花などの決まっているものを提示し、それを使ってどのように貼っていきたいかを問う。絵本のイメージを膨らませたり活動の見通しをもったりすることができるようにするためである。</p>	<p>【自ら決める・選ぶ】</p> <p>②絵本の1ページ目と最終ページから大体のお話を見通し、未完成の絵本を完成させていくという具体的な目的をもって絵本づくりに挑戦し、あきらめずにやり遂げようとする。</p>
3	<p><もとめる></p> <p>ものの集合を捉え、10までの数を数えたり、よみ・かき、大小判断をしたり、登場したものを絵本に貼り付けたりする。</p> <p>○1～5の具体物と半具体物と数字を関連付けたり、</p>	<p>お話に出てくるかえるや鳥を1匹・1羽ずつパーツとして準備し、かえるが乗る葉っぱや鳥が入る鳥の巣は事前に本に印刷しておく。かえるや鳥を実際に動かすことで1対1に対応づける意識をもったり、数の多さに気付くことができるようにするためである。</p>	<p>【自ら決める・選ぶ】</p> <p>②絵本の1ページ目と最終ページから大体のお話を見通し、未完成の絵本を完成させていくという具体的な目的をもって絵本づくりに挑戦し、あきらめずにやり遂げようとする。</p> <p>【自分のことを伝える】</p>

第〇時

学習活動

支援

資質・能力

単元構成表

時間	学習活動	◆支援・留意点	資質・能力
1	<p><みつける> 0.5時間</p> <p>・間のページを埋めていこうよ。</p>	<p>絵を見て分かること、想像したことを話す場を設け</p>	<p>【文芸に表す】</p>
2	<p><みとおす> 0.5時間</p> <p>学習計画を立て、単元の学びを見通す。</p>	<p>提示し、それに基づいてどのように貼っていきたいかを</p>	<p>【自ら決める・選ぶ】</p> <p>②絵本の1ページ目と最終ページから大体のお話を見通し、未完成の絵本を完成させていく</p>
3	<p>○1~5の具体物と半具体物と数字を関連付けたり、</p>	<p>少に気付くことができるようにするためである。</p>	<p>【自分のことを伝える】</p>

クラスおよび学年の子どもたちの年間を通じた資質・能力の発揮，伸長の把握

単元構成表への修正などカリキュラム改善へ

第〇時

学習活動

支援

資質・能力

補助簿の開発における成果

- ①ねらいの共有のしやすさ
- ②即時にデータ化
- ③個票の形で集積
= 長期スパンでのみとり
- ④子どもの学びに基づく
カリキュラム改善の見通し

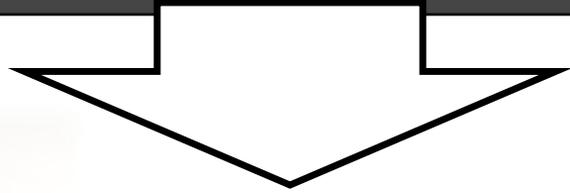
初等後期

教科等カリキュラム



教科の観点での評価

54の育成したい資質・能力を意図的に発揮，伸長できるようにする必要がある



意図的に必要能力は、時間の

「質・能力」を立時



初等前期

初等後期

7歳

「資質・能力カリキュラム」と「教科等カリキュラム」のつなぎ

7歳後半は教科，領域というそれぞれの学問体系で学習を組み，子ども達の必要感に根差した単元を構成している。

「資質・能力カリキュラム」から「教科等カリキュラム」に移行していく1年間に同じ担任が子ども達の学びを見取り，支援し，評価していく。

教科の観点で評価を行うが，54の資質・能力も形成的評価の視点として用いる。

初等前期

6歳,7歳前半

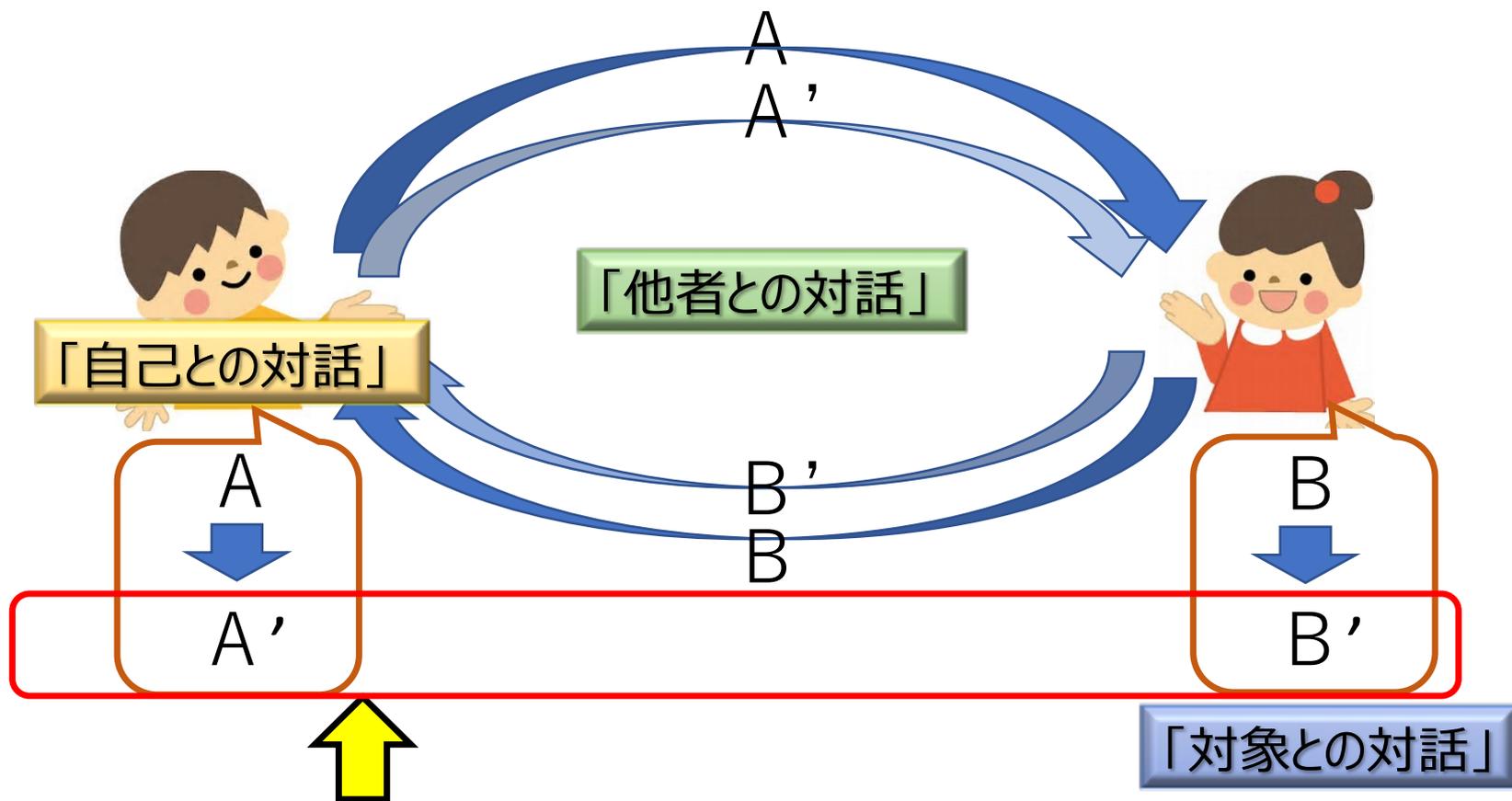
初等後期

他者と対話的な関係を築き, 「納得解」を創造する子ども
—「他者」「自己」「対象」との対話を視点にした授業づくり—

本質的な学び  資質・能力の発揮, 伸長

資質・能力が発揮, 伸長される場づくり





「納得解」 両者が互いに共有できたこと

初等前期

6歳,7歳前半

初等後期

< 「納得解」を創造する単元構想 >

みつける

単元を貫く問いを見付ける場

みとおす

問題をどのように解決していくか見通しをもつ場

もとめる

問題の解決に向けて追求する場

ふかめる

追求から得られた学びを広げ, 深めたり, 学びを
ふりかえったりする場

初等前期

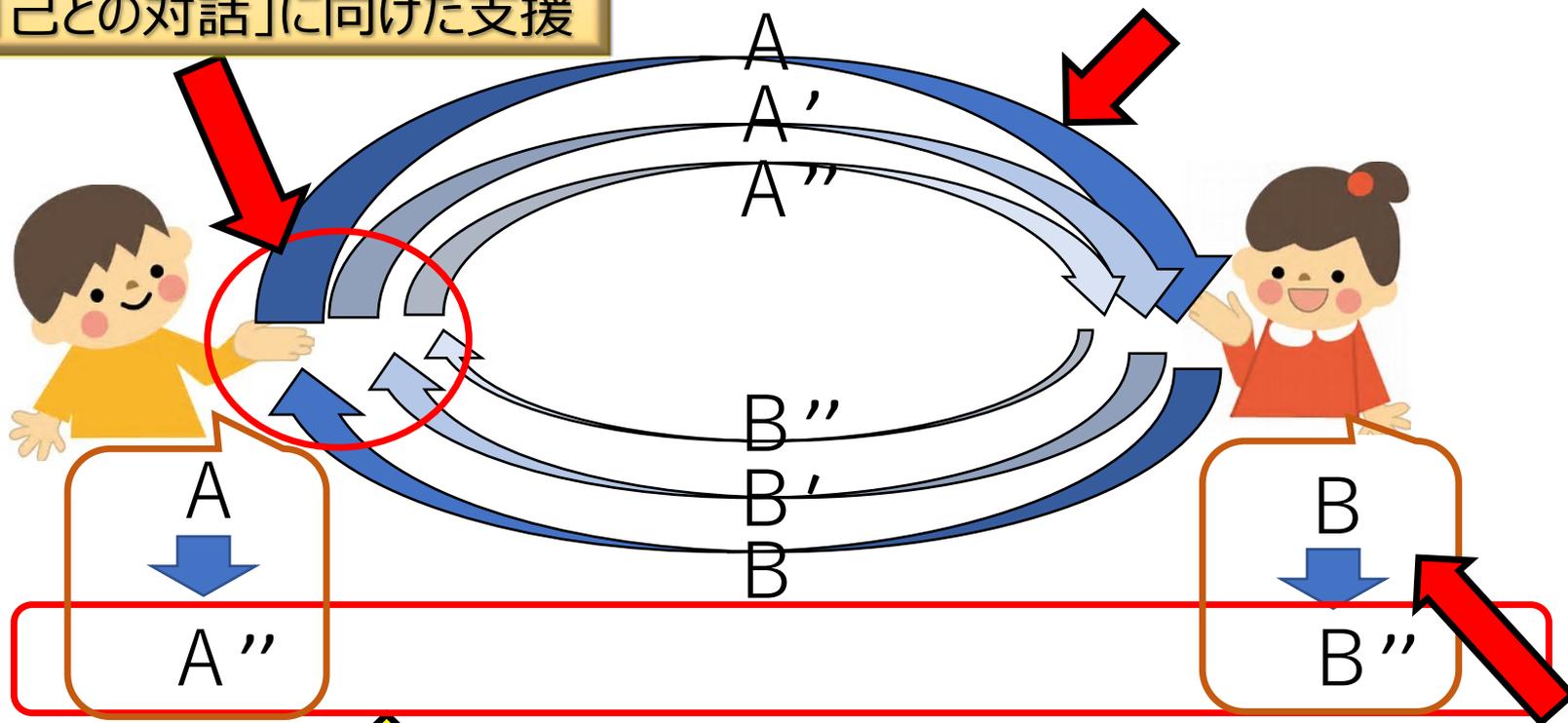
6歳,7歳前半

初等後期

< 「納得解」 を創造する一単位時間の構想 >

「自己との対話」に向けた支援

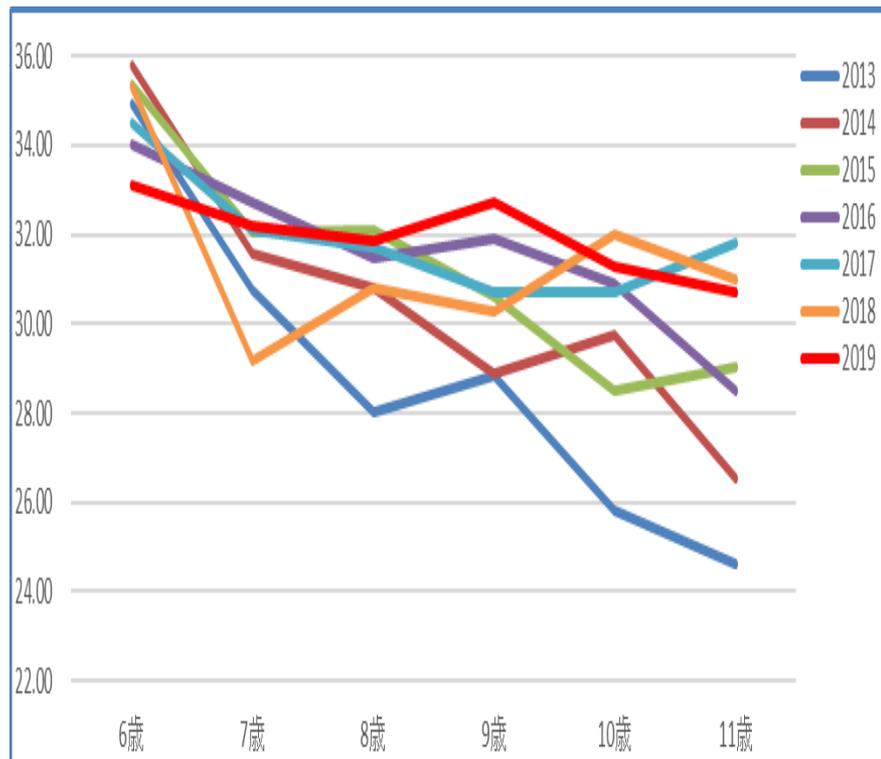
「他者との対話」に向けた支援



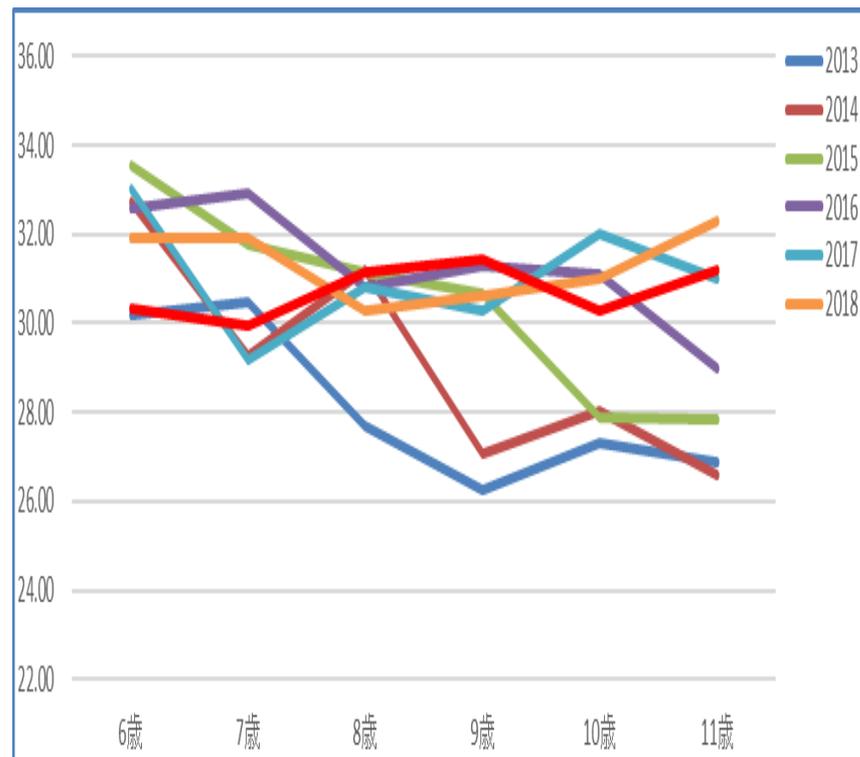
「納得解」 両者が互いに共有できたこと

研究の成果

子どもへの効果



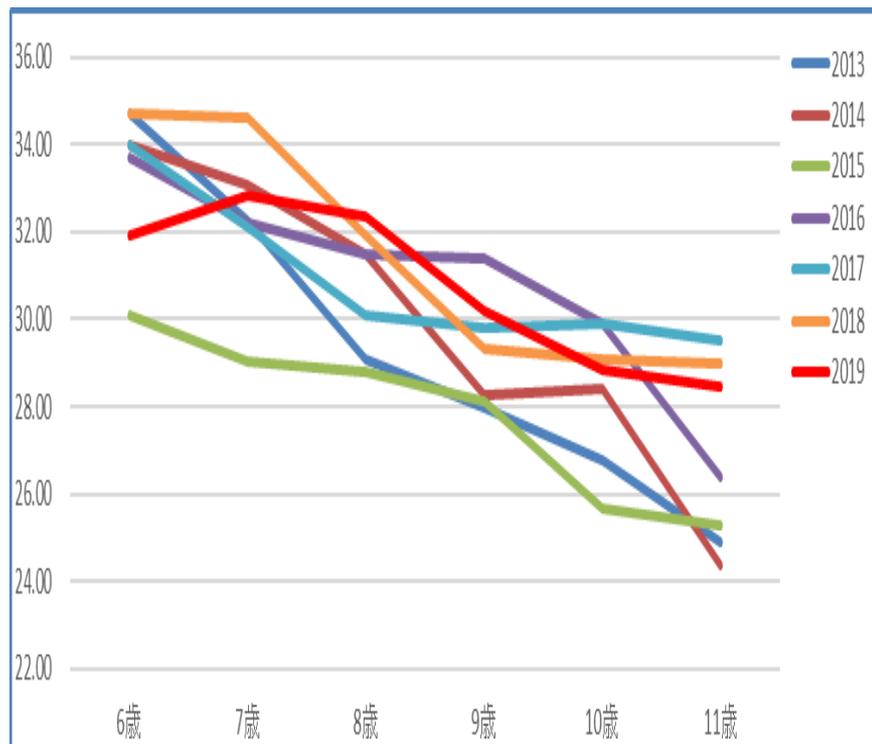
【学習コンピテンス】



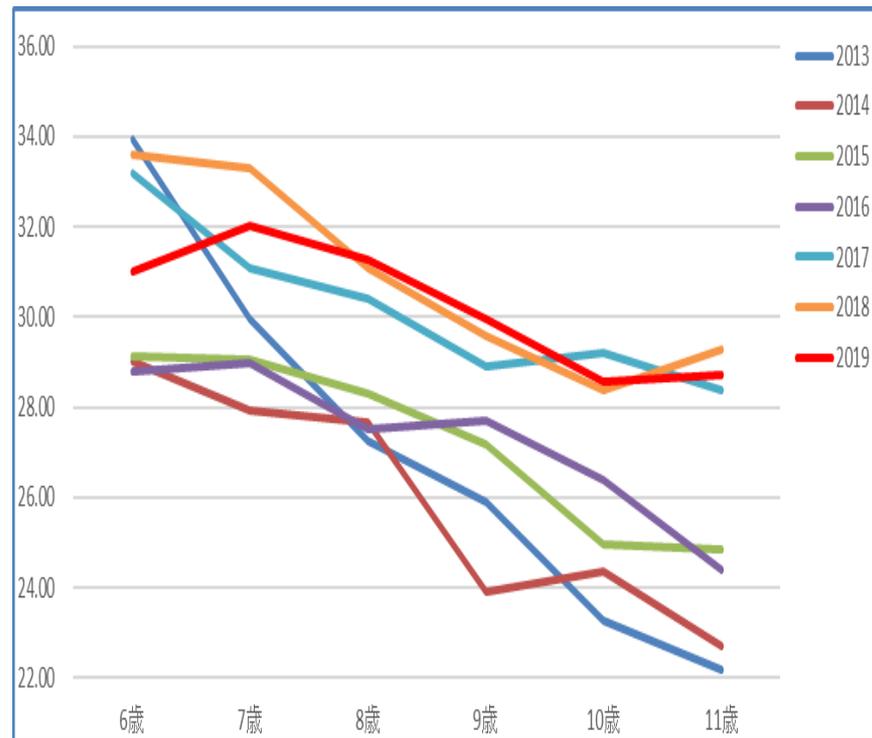
【社会コンピテンス】

研究の成果

子どもへの効果



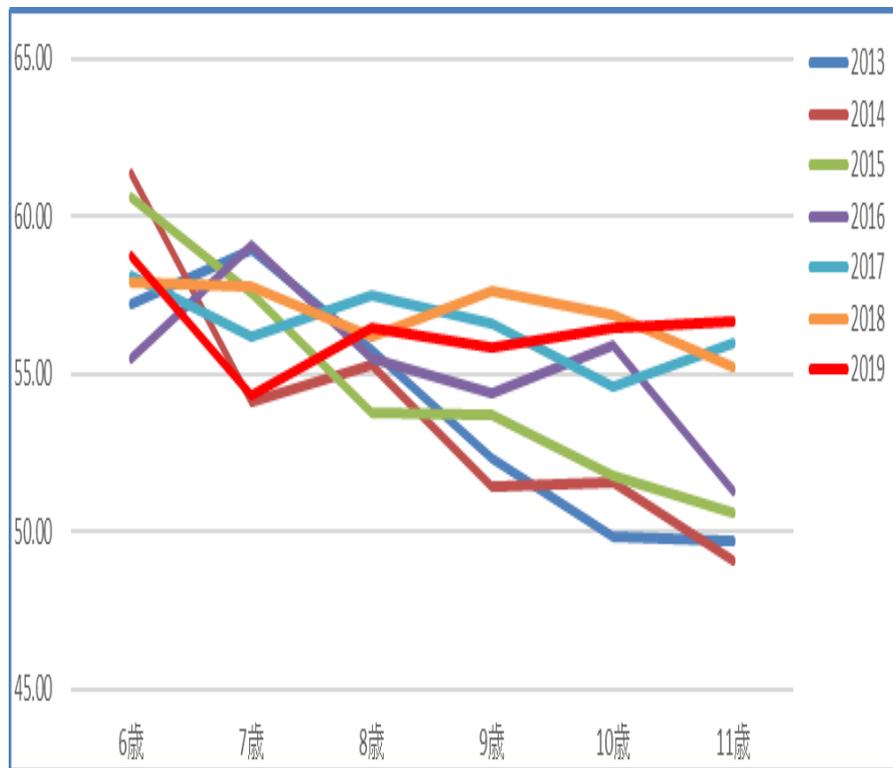
【運動コンピテンス】



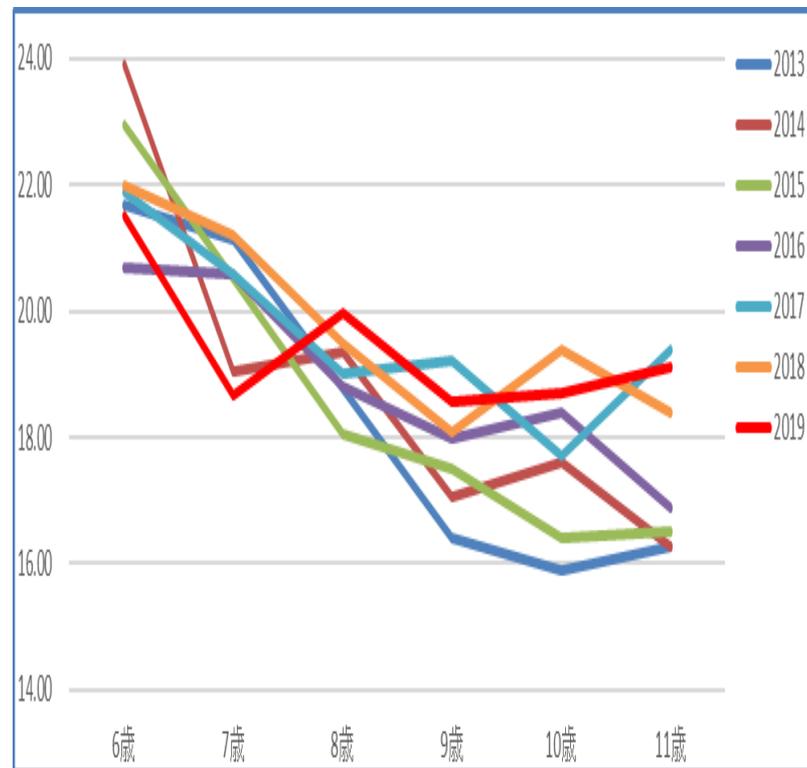
【自己評価】

研究の成果

子どもへの効果



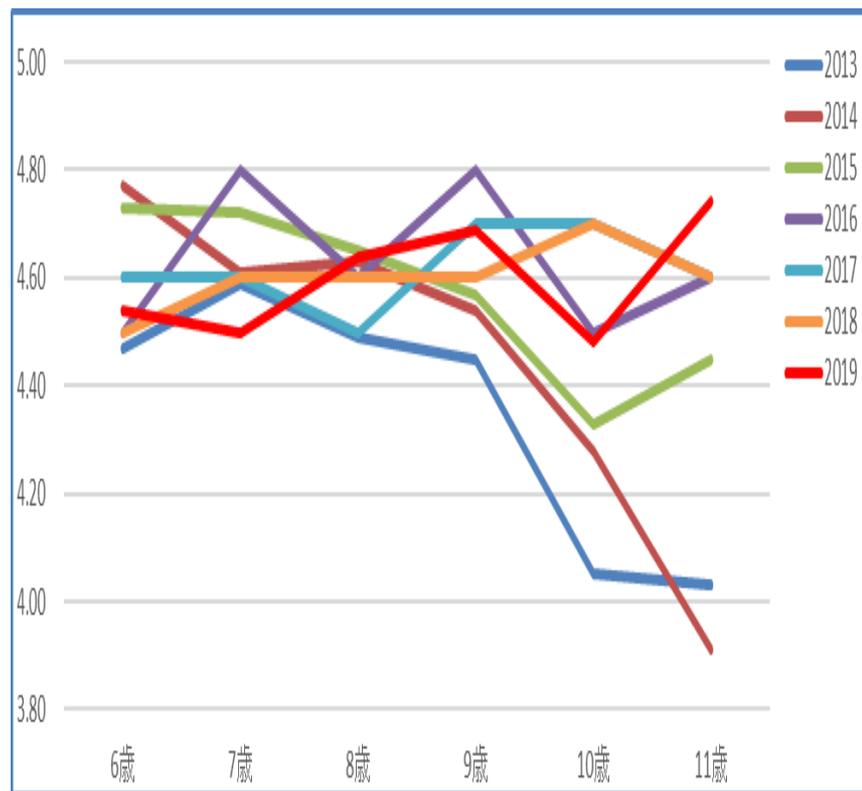
【共感的関心】



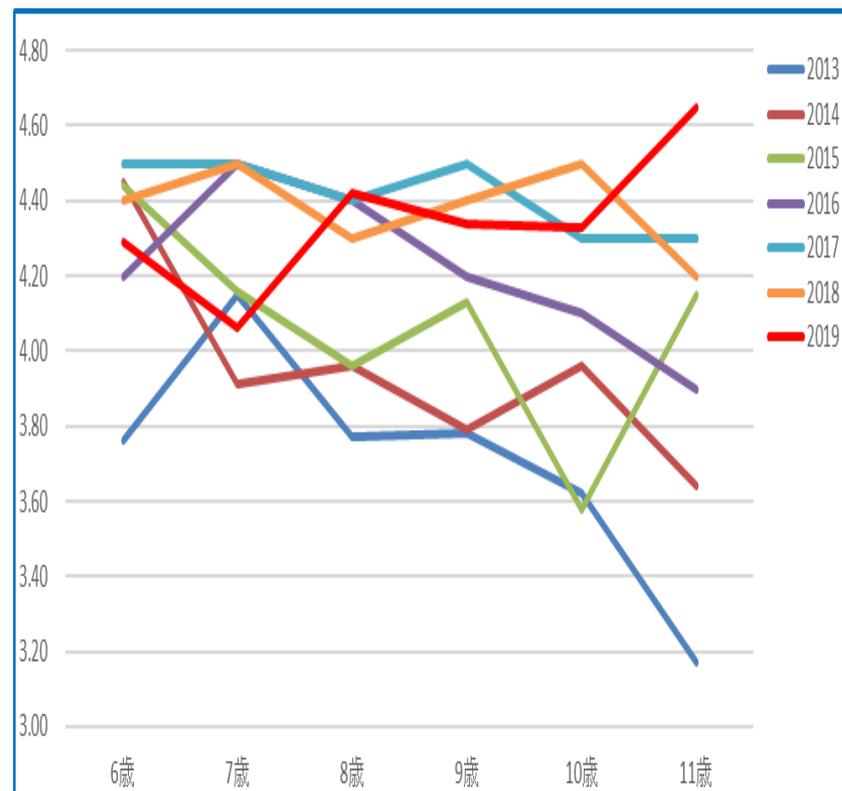
【気持ちの想像】

研究の成果

子どもへの効果



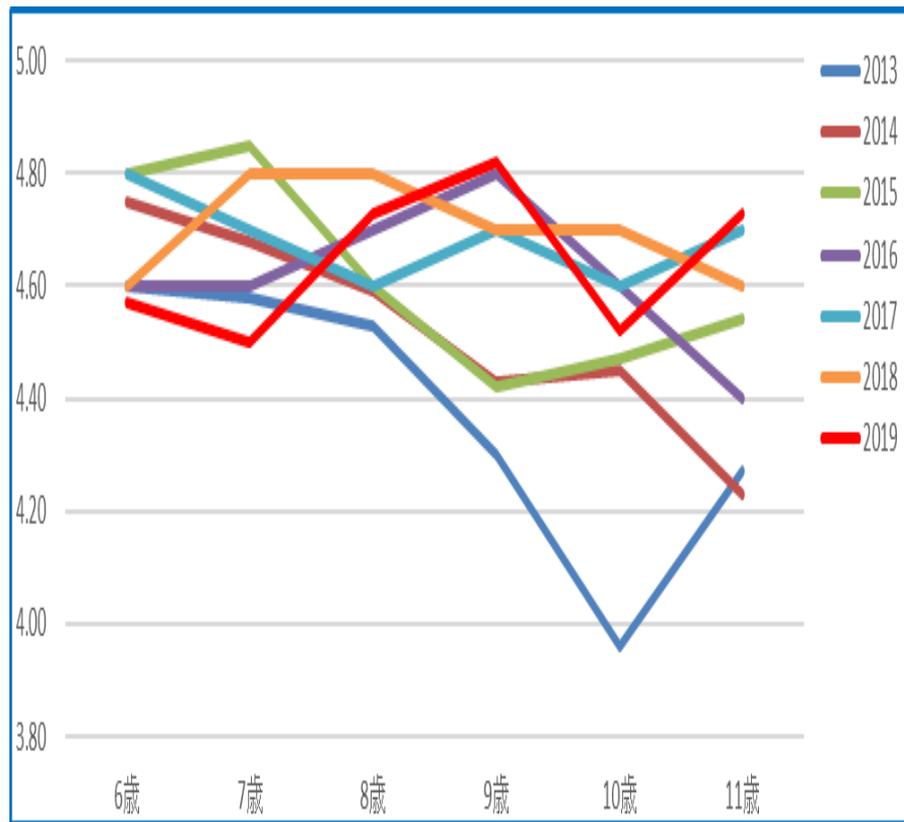
【知的好奇心】



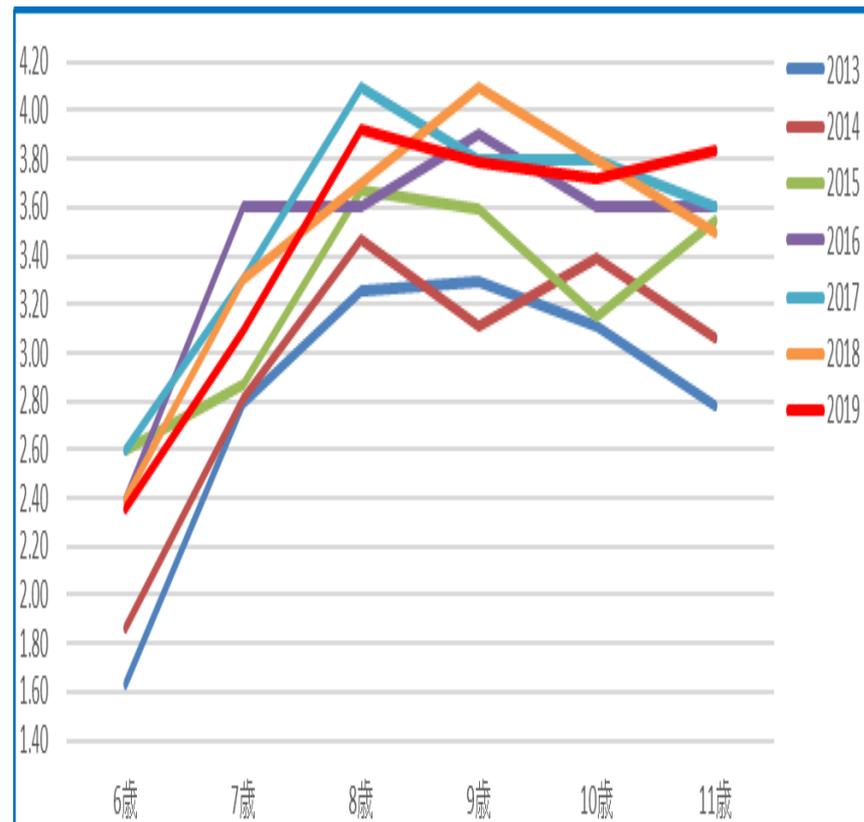
【因果律】

研究の成果

子どもへの効果



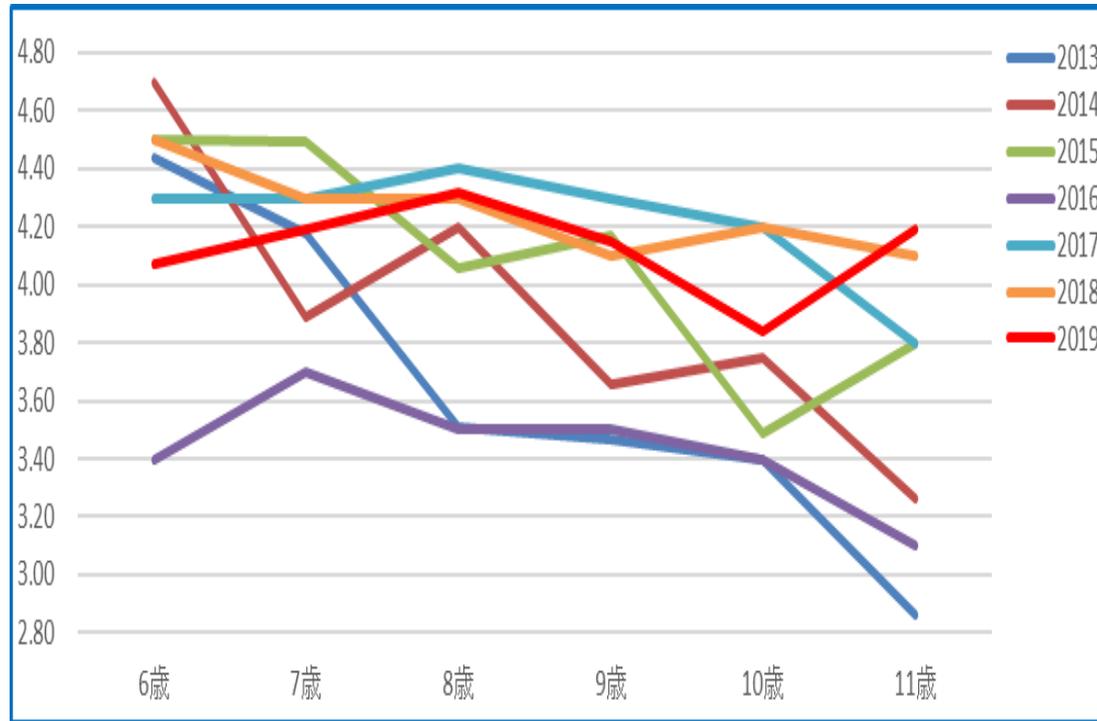
【達成】



【帰属】

研究の成果

子どもへの効果



【挑戦】

研究の成果

教師への効果

- ①子ども理解の深化
- ②幼小接続を目指す意識改革
- ③54の資質・能力の観点による見取り，支援の充実

保護者への効果

幼小接続の価値や本校園のカリキュラムに対する理解

今後

<幼稚園>

- ・低学年教育に生かすべき指導方法を明確にする
- ・ICT技術を用いたデータの集積方法を確立する

<小学校>

- ・学校全体での低学年教育についての共有を促進し、
低学年教育に造詣の深い教員を育成する
- ・「グローバル英語教育」の方向性を見定める
- ・発達段階に合わせた、教科の開始時期を検討する